

育成会 かわさき



知的障害者親の会 会報 No.208

2023. 5. 1

創立10周年を迎えて

川崎市育成会手をむすぶ親の会
会長 美和 とよみ



若葉の鮮やかな季節になりました、会員の皆様にはお元気にお過ごしでしょうか。今年度も益々のご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。

さて、令和5年4月1日に当会が創立10周年を迎えました。「財団法人川崎市心身障害者地域福祉協会」解散後、運動体として活動を進めてまいりました。ひとえに会員の皆様のご協力の賜物と感謝申し上げます。そこで、6月1日（木）に川崎市総合自治会館で市長をはじめ、ご来賓の方々をお迎えして記念式典を行い、共にお祝いしたいと思います。ぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。

また、この広報紙と一緒に配布しました「10周年記念誌」を作成しました。懐かしい顔が拝見できると思います。「精神薄弱者育成会」の昭和51年からの会報を読み返し、簡単ではありますが、活動をまとめました。ひまわり会から67年と副題にありますが、当時のことは記録が残っていませんでした。昭和31年ごろを思い出すと、女性が外に出て活動することはとても大変だったと想像します。そのお母さんたちが、障害のある子どものために立ちあがってくださったことが、今の活動に繋がっていると感謝しております。

67年前とは比べられないほど、障害者の福祉制度、福祉サービスは整ってきています。しかし、子どもの幸せを願う親の気持ちは、当時と現在を比べてもそれほど変わっていないように思います。当会は、障害のある人が地域で安心して暮らしていけるように、親の支援亡き後も幸せに過ごしていけるように、と要望活動を行っています。会員の皆様の声が活動の源です。今後ともご協力くださいますよう、よろしく願いいたします。

最後になりますが、当会は会員をはじめ多くの方々に支えられて、活動を続けることができています。その方たちに感謝申し上げますと共に、創立時から会の運営を担ってくださった役員の方々に感謝申し上げます。

ホームページ、リニューアル公開

「川崎市育成会手をむすぶ親の会」で、検索してください。



令和5年度川崎市予算要望の回答について

書記 加藤 敦子

昨年8月に川崎市へ提出した「令和5年度の予算要望」について、3月29日（水）回答を受け取りました。川崎市から障害保健福祉部長や担当部署の課長など数名、当会は三役が出席しました。



現在一番大きな課題になっている人材の確保と育成について、市では行動援護や移動支援などの従事者養成研修を支援し、重度訪問介護や相談支援従事者に係る研修、強度行動障害支援者養成研修などを実施して育成強化を図っているそうです。

人材確保については、川崎市社会福祉協議会の人材バンクを通じて登録や斡旋などを行い、4月からは川崎市内の福祉の仕事に従事してくれる方（入社から3年目まで）に対して3万円の家賃補助をすることになったと説明がありました。その他、外部企業に委託して人材のマッチングや教育を行うなど、様々な取り組みをされているとのこと。それでも望む人数がなかなか集まらないのも事実ですが、市側が施策を講じてくれていることに期待感を持ちました。これらの取り組みが実を結ぶことを願ってやみません。

また、以前からの懸案事項である相談支援事業についてですが、現在のセルフプランやサポートプラン（施設などによるサービス等利用計画作成支援）は、あくまで不足している計画相談を補完するための取り組みであり、計画相談支援が十分に確保された時点で終了することになると回答書に記載がありました。そのための従事者養成や事業新規参入への体制強化に向けた取り組みを、引き続き実施すると約束してくれました。相談支援事業の充実、障害児者が地域で安心して暮らしていくために欠かせないことです。これからも状況を注視しながら、引き続き要望していきたいと思えます。

その他、災害時個別避難計画や避難所などの災害支援、365日必要な支援についても回答をいただきました。災害はいつ起こるか予想ができません。避難計画や避難所整備についての課題は早急に進めていただかなければなりません。また、日中サービス型共同生活援助事業所が増えていけば、3～5人に対して世話人1人の配置など、重度の障害者等に対して常時の支援体制を確保することができ、本人の安定した生活とともに、親の安心感をも得ることができそうです。

今回は1時間以上様々な意見交換を行いました。いずれの要望も、まだある程度の時間を要すると思われますが、障害児者のより良い未来のため、今後も川崎市との意思疎通を継続していくことは大切であると感じました。

青い鳥郵便葉書の無償配付のお知らせ

「青い鳥郵便葉書」は、青い鳥をデザインしたオリジナル封筒に葉書20枚を封入したものです。配付の対象は、身体障がい者の方で「1級」又は「2級」、知的障がい者の方は療育手帳のA又は「1度」もしくは「2度」の表記のある方です。

受付は2023年4月3日（月）から5月31日（水）まで。お渡しは2023年4月20日（木）からとなります。ご希望の方は、郵便局に身体障害者手帳または療育手帳を持参して「青い鳥郵便葉書配付申込書」に記入し窓口に提出してください。代人の方、郵送でもお申込み出来ます。



2022年度 育成会フォーラム

【会長あいさつ】



(一社) 全国手をつなぐ育成会連合会 会長 久保 厚子 氏
全世界に広がっていた新型コロナウイルスが、今年5月より2類から5類に変わることになりました。国による総合支援法の見直し、国連の障害者権利条約の審査等、様々な法律の見直しなどが検討されています。知的障害のある人が人権を守られ、安心して暮らせることにつながればと思います。

【基調講演】



認定NPO法人 DPI日本会議 議長補佐 崔 栄繁 氏
私の所属する団体は、「障害者インターナショナル」という、障害種別を超えた障害当事者中心の集まりです。障害者権利条約は、国連の人権条約の一つで21世紀最初の人権条約とも言われています。障害があるからできないではなく、社会の環境やルールを変えよう。差別をしてはいけません。障害者の問題は、権利の問題です。地域を改革することが前提で、すべての障害のある子どもが、自分の住む地域の学校に通い、支援学校は希望した場合に行く。連携をとって「施設や病院、家族に依存しなくてもすむ地域づくり」に。皆で取り組んでいくことが必要です。

【障害者総合支援法・児童福祉法改正ポイント解説】



(一社) 全国手をつなぐ育成会連合会常務理事兼事務局長

又村 あおい 氏

令和6年4月より、法律、政省令、報酬が法改されます。基本的な方向性は、希望する地域生活の実現、社会の変化等に伴う障害児者へのきめ細かな対応、持続可能で質の高い障害福祉サービス等の実現、児童福祉法・障害者総合支援法の改正（就労選択支援、通過型グループホーム）就労移行支援、継続支援の利用対象拡大等です。

【シンポジウム】総合支援法・児童福祉法の改正と知的障害者福祉の展望と課題



全国手をつなぐ育成会連合会政策センター 片桐 公彦 氏

住まいのあり方について、マンツーマンでヘルパーの方と暮らす選択肢もあると思う。インクルーシブを進めるなら、障害のあるなしにかかわらず進めるべきではないかと思う。



全国手をつなぐ育成会連合会政策センター委員長 高木 誠一 氏

脱施設化で、グループホームは15万人に増えたが、入所施設には12万7千人もいる。やまゆり園では、人権意識の大きな欠如により、人間らしい生活を送れない状況だった。入所施設も地域の一員である。施設のサテライト化、個室を基本としたユニット化。地域移行、移動支援の活用、医療的な支援、小規模化等々。グループホームの重度障害者の支援体制の強化が必要とされている。



植草学園大学 副学長 野澤 和弘 氏

最近、人口が減ってもよいかと思う。ほかの地域も減っているし、生物が生きていくには良いのかもしれない。社会保障全般から考えると、今は第3の転換期かと思う。これからの障害者福祉の新たな課題として、福祉サービスは増えても本人中心になっていない。地域で1人では暮らせないからグループホームを選ぶし、入所施設を求める動きもある。障害があっても、地域でいろいろな活動や仕事をして驚くほど変わっていく。しっかり受け止めて雇用と福祉の連携を強化したい。

全国手をつなぐ育成会連合会「令和3年度正会員代表者・事務局長合同会議」報告

会長 美和 とよみ

今年度も、同じ内容で3回に分かれてオンラインで開催されました。当会は3月8日(水)午後の部に参加しました。6月の総会に向けた議案書と組織作りについての会議です。緊張しつつも、正会員の方々のいろいろな意見を聞くことができた貴重な時間でした。

事業計画については全育連のおもな事業を平時体制に移しつつ、対面とオンラインの併用を考えていく。予算については、前年も黒字決算ではあるが財政状況は厳しく、書籍の購読、おたすけプランの保険加入を勧めていく、とのことでした。



《全国手をつなぐ育成会久保会長のあいさつから》

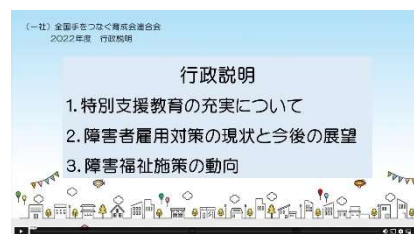
新型コロナウイルスがインフルエンザと同じ5類相当になります。全育連の活動も社会の情勢を見ながら平時体制へ移行していきます。障害者権利条約対日審査総括所見を受けて、地域で暮らしていくための支援や、成年後見制度だけに頼ることなく、本人の意思を尊重するなど権利擁護の仕組みについて考えていかなければならない。

「2022行政説明会・育成会フォーラム」は5月19日までユーチューブで配信されます。ご希望の会員は当会ホームページよりお申し込みください。

2022年度行政説明会

動画での配信となり、3月20日から配信されました。

1. 特別支援教育の充実について
文部科学省 初等中等教育局
特別支援教育課課長 山田 泰造 氏
2. 障害者雇用対策の現状と今後の展望
厚生労働省 職業安定局 障害者雇用対策課課長補佐 富安 知翔 氏
3. 障害福祉施策の動向
厚生労働省 社会・援護局 障害保険福祉部 障害福祉課
生活支援推進室・虐待防止専門員・障害福祉専門官 松崎 貴之 氏



それぞれ、現状と最近の動向、対策、法律改正による見直し、また令和5年度の予算案等についてを中心に説明がありました。

特別支援教育の説明では、最後に「通常級に支援の必要な子供が多くいることがわかったこと。通常級にいる子供の支援をいかに円滑にできるかが課題である。今年2月におこなわれた通常の学級に在籍する障害のある生徒への支援の検討会議の結果を見て国としてできる事を検討し進めたい」とお話されていました。

また、障害者総合支援法の説明では、グループホーム利用者への支援では、現行の支援に加え、居宅における自立した日常生活への移行を希望する入居者に対し居宅生活への移行や移行後の定着に関する相談支援の実施。また、就労アセスメントの手法を活用した支援の制度化等では、就労選択支援の創設や一般就労中であっても、就労系障害福祉サービスを一時的に利用できることを法令上位置付ける等の説明がありました。

詳細はこれから決まっていくという事でした。今後どのように進んでいくのか注視したいと思います。

今回感じた事は、「一人ひとりが関心を持つことが大切である」ということです。子供の状況やライフステージにより気がかりなことはそれぞれかと思えます。お話の中には既に通り過ぎたこと、また、これからの事もありましたが、まだ多くある課題をこれからも注視しつつ、子供たちのためにできることを考えていきたいと思えました。(木村 益美)

『創立10周年記念式典』～ひまわり会から67年～ 開催のお知らせ

「川崎市育成会手をむすぶ親の会」として発足してから10年の節目として、今までの歩みを振り返りながら、会員の皆さんとともにお祝いしたいと思います。

<p>【日 時】 令和5年6月1日（木） 13時00分～15時00分</p> <p>【場 所】 川崎市総合自治会館 中原区小杉3丁目600番 コスギサードアヴェニュー4階</p>	<p>第一部 記念式典（開会、挨拶、祝辞、閉会）</p> <p>第二部（13時50分～15時00分） 記念講演「すったもんだの日々」 講 師 小島 幸子氏 （栃木県手をつなぐ育成会会長、 全国手をつなぐ育成会連合会副会長）</p>
---	---

『令和5年 川崎市心身障害児者福祉大会』開催のお知らせ

大会スローガン「障害のある人もない人も共に生きる川崎の街に」
心身障害児者とその家族の地域福祉の向上を図るために開催されます。

<p>【日 時】 令和5年6月24日（土） 13時00分～15時00分</p> <p>【場 所】 高津市民館 大会議室 高津区溝の口1丁目4-1 ノクティ2・12階</p> <p>*関心のある方はどなたでもご自由に参加できます。</p>	<p>第一部 式 典（開会、挨拶、祝辞、大会宣言、閉会）</p> <p>第二部（13時50分～15時00分） 講演会「口から食べる幸せ」 講 師 小山 珠美氏 （NPO法人 口から食べる幸せを守る会理事長）</p>
--	---

『川崎市育成会手をむすぶ親の会第11回総会』のお知らせ

総会は、代議員制とし、支部から推薦または選出した代議員及び立候補して当選した代議員、並びに会則第8条の役員のうち会計監査を除く役員、並びに会則第20条で定める支部代表と会則第25条で定める委員会委員長をもって構成し、開催します。

<p>【日 時】 令和5年5月12日（金） 10時30分～12時00分</p> <p>【場 所】 地域福祉施設「ちどり」 1階 会議室</p>	<p>【議 事】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和4年度事業活動報告（案） 2. 令和4年度決算報告（案）・会計監査報告（案） 3. 会則改定（案） 4. 令和5年度・6年度役員選出（案） 5. 令和5年度事業活動計画（案） 6. 令和5年度予算（案）
---	---

春のレクリエーション 「スカイツリー・ソラマチ」と「そなエリア東京」

余暇活動委員会 小澤 千枝



3月4日（土）春のレクリエーションを開催しました。参加人数は66名です。しっかり感染対策をしたうえで実施しました。

バスが出発して1時間ほどで、浅草の昼食会場「葵丸進」に到着。「天麩羅御膳」をいただきました。期待以上のサクサクとした食感の天ぷらで、大満足の美味しさでした。昼食後は仲見世・浅草寺境内を歩いて、二天門からバスでスカイツリーに移動しました。到着後は高速のエレベーターで一

気に展望デッキ、天望回廊に。高さに足がすくみながらも、天気も良く、最高の眺望を堪能しました。ただ、息子には眺めや高さのことはよくわからないようで、観光客の多さに戸惑っている様子でした。集合時間までは、ザ・スカイツリーショップなどでお買い物を楽しみました。

その後は有明の防災体験学習施設「そなエリア東京」へ。地震の発生から避難までを体験できるツアーに参加したり、災害に関する展示物や、映画に使われたオペレーションルームを見て、防災について考える良い機会となりました。コロナ禍、春のレクリエーションは3回中止になりましたので、今回無事に開催されたことに安堵しました。参加された皆さんの表情も明るく見えました。マスクのない、笑顔が見えるバスツアーも、もうすぐかもしれません。

研修会「障害者差別解消法と合理的配慮について」

障害のある人もない人も、チャンス・待遇は平等！！

研修事業推進委員会 磯 優子

3月7日（火）てくのかわさき・てくのホールにて、講師 又村あおい氏による「障害者差別解消法と合理的配慮について」の研修会を行いました。今回も新型コロナウイルス感染対策のため、会員限定で開催しました。参加者は18名でした。



令和3年に「障害者差別解消法」が改正になり、事業「義務」となりました。また、障害を理由とする差別に関する相談に対応する人材の育成、確保する責務が明確化され、地方自治体においても情報（事例等）の収集、整理及び提供が努力義務となり、遅くとも令和6年上半期にはこれらが施行されます。川崎市においても対応要領が作成されています。川崎市のホームページで「障害者差別解消法」で検索すると出てきますのでご覧ください。

今回特に印象に残ったのが、「40年後は国民の半数が高齢者と障害者になり、若い人（健常者）が合わせていかななくてはならなくなる」という言葉です。

合理的配慮が当たり前の世の中になり、今よりもさらに障害者が安心して暮らしていけるという期待を持ちました。

『手をつなぐ』を購読しませんか!!

全国手をつなぐ育成会連合会発行の機関紙『手をつなぐ』は、身近な課題から障害福祉施策まで、暮らしに役立つ最新情報です。年間購読料は3,900円です。

関心のある方は、ぜひ、各支部役員までご連絡をお願いします。



かわさきキャラバン隊活動報告

権利擁護委員会



1月27日（金）川崎市小田小学校にて、知的障害疑似体験のオンライン講演を行いました。

4年生3クラスの教室とキャラバン隊メンバーをZOOMで繋げての講演です。パワーポイントの画面を見ながらの講演でしたが、絵や文字を書いたり、音を聴きながらの質問にも活発に答えてくれました。また、あなたならどうしてほしいかとの問いかけにも一生懸命考えてくれました。「疑似体験をして知的障害者の困っていることがわかって良かった」などの意見や感想もたくさん聞くことができました。

子どもたちからたくさんの意見が出て、発想力や素直さに心が温まりました。キャラバン隊メンバーにとっても楽しい講演になり、そして貴重な体験をさせていただきました。子どもたちが大人になるころには、障害のある人もない人も共に生きる社会が実現していることを願いながら、今後も「かわさきキャラバン隊」の活動を続けてまいります。

2月8日（水）社会福祉法人育桜福祉会わかたけ作業所からのご依頼で、16時30分から30分間オンラインで、知的障害疑似体験講演を行いました。

13名の職員の皆様がわかたけ作業所の会場に集まり、参加してくれました。

2つの体験と朗読の短い講演でしたが、講演中の問いかけに積極的に手をあげて発言してくださり、大変嬉しく思いました。

講演後、「わかっているはずなのに見過ごしてしまうことを再確認できた。」との感想がありました。日頃から障害者との関わりを持つ方々に疑似体験の感想や意見をいただき、ブラッシュアップにつなげていきたいと改めて思いました。かわさきキャラバン隊の活動が、障害者が穏やかに暮らしていける一助となることを願っています。



一般社団法人
全国手をつなぐ育成会連合会の
会員の皆様へ

手をつなぐがん保険

(団体総合生活保険)

障がいのある方とご家族をワイドにお守りする保険です

なぜ障がいのある息子はがん保険に加入できないのでしょうか?*

(*)ぜんち共済のお客様アンケートより

久保会長とぜんち共済社長の榎本が「手をつなぐがん保険」に対する思いを対談形式で語っています。また、又村事務局長による加入方法のご案内もあります。動画を是非ご覧ください!!

動画はこちらから



<https://youtu.be/MU8sw5liByk>

手をつなぐがん保険に興味を持たれた方は
下記お問い合わせ先(取扱代理店)に資料請求を
お待ちしております。

[お問い合わせ先取扱代理店]

ぜんち共済株式会社

〒102-0073
東京都千代田区九段北3-2-5 九段北325ビル4階

0120-322-150

TEL: 03-6910-0850 / FAX: 03-6910-0851

URL: <http://www.z-kyosai.com/>

MAIL: gan@z-kyosai.com

(営業時間 平日9:00~17:00(土日・祝日・年末年始を除く))

たった1分

スマホでカンタン資料請求

*QRコードはデンソーウェブの
登録商標です。



[引受保険会社]

東京海上日動火災保険株式会社

公務第一部東京公務課

〒102-8014 東京都千代田区三番町6-4

TEL: 03-3515-4126(営業時間: 平日9:00~17:00)

この広告は、「手をつなぐがん保険」の概要をご紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず「[ノンレフト兼重要事項説明書]」をよくお読みください。「手をつなぐがん保険」は団体総合生活保険のペットネームです。ご不明な点等がある場合は、代理店までお問い合わせください。

2022年5月作成 22-TC00935

支部通信

高津支部 「新年高津支部懇親会・春のコンサート」

高津支部 三浦 ルイ子

2月1日（水）新年高津支部懇親会を行いました。今年はコロナ過のため、飲食を控えて開催しました。

当会から、美和会長をはじめ、三役の皆様にお越しいただき、14名の参加でした。

美和会長からは、川崎市育成会手をむすぶ親の会になってから10周年を迎えるにあたり、6月1日（木）には式典を行うことや現在記念誌の準備をしていることなどのお話がありました。また「施設での困り事などがありましたら、当会にご連絡ください」と話されました。自己紹介の中では、コロナ感染拡大で通所施設の休園や自粛、環境の変化により生活のリズムが変わってしまったことや子どもが入院をしたこと、子どもの高齢化への不安などの話がありました。コロナ過以前に比べ出席者の少ない懇親会でしたが、久しぶりにお会いし、皆様からの近況報告を伺うこともでき、楽しい時間でした。懇親会の最後に、出席された皆様と写真を撮りました。



4月3日（月）には、てくのかわさき・てくのホールにおいて、洗足学園音楽大学大学院修了生「アンサンブル・ブラッシュ」の皆様をお招きして「春のコンサート」を行いました。参加者は23名でした。感染予防対策として、ソーシャルディスタンスを確保して開催しました。



アンサンブルや独奏・二重奏のプログラムで、素晴らしい演奏の音色にうっとり、また、親しみのある曲の演奏では、涙される方がいらっしゃいました。1時間と短い時間でしたが、日頃の疲れを癒すひとときになっていたら嬉しいです。

3年越しの企画でしたが、開催できたことに支部役員一同安堵いたしました。

3年越しの企画でしたが、開催できたことに支部役員一同安堵いたしました。



川崎支部 新春日帰りバス旅行

川崎支部 板垣 ひとみ

2月4日（土）約3年ぶりに日帰りバス旅行を開催しました。

今回は千葉房総方面で、参加者は27名でした。8時30分に出発し、「千葉県立房総の村」で商家の町並みを再現した場所を散策しました。その後バスで30分ほど移動し、日本航空が経営しているレストラン「御料鶴」で、地元の食材を使ったランチ「御料鶴小鉢膳」をいただきました。食後は、同じ敷地内にある「ICHIGONOMI」でいちご狩りをしました。



満腹になった後は、バスで移動して「空の駅さくら館」でお土産を買いました。帰りは東京湾アクアラインを通り、「海ほたるパーキングエリア」に寄りました。私は娘と初めての参加でした。ボランティアさんの支えで、娘のペースに合わせて楽しめたことと、会員の皆さんと笑顔の再会ができたことを嬉しく思いました。

私たちの広場「料理教室」

(令和5年2月12日実施)

新型コロナの流行により2年ほど中止していましたが、今年は無事に料理教室を開催することができました。

今年作ったのはシーフードピラフ、油淋鶏、野菜たっぷりスープ、そしてコーヒーゼリーでした。シーフードピラフは野菜を切り、冷凍シーフードとコンソメスープの素を混ぜて炊飯器で炊きます。最後にバターとパセリを混ぜます。油淋鶏は鶏もも肉に衣をつけるところまで行い、揚げるのは先生にお任せしました。スープはたくさんの野菜を切り、大きな鍋で煮ました。コーヒーゼリーは先生のお手製のものにクリームとイチゴを乗せていただきました。先生の指示に従い料理を作っていく、どれもおいしく出来上がりました。特に野菜たっぷりスープは野菜にしっかりと味がしみ込んでおり、素晴らしい味わいでした。



参加者の皆さんも楽しそうに料理を作って喜んでくれていたようです。また来年も無事開催できるよう祈っています。

(支援者 大橋)

すったもんだの毎日

この春、私の母が旅立ちました。通夜の会場で息子は、落ち着かない様子でした。パニックになるのが心配だったので「7時30分、セブンイレブンに行こうね」と話し、椅子に座らせました。そして、2人のお坊さんのお経が始まりました。

しばらくすると息子は「もごもご〜」「もごもご〜」と独り言を言い始めました。私は、「静かに」と声を掛けたかったのですが、大きい声を出すに違いないと思い、止まれ止まれと念じていました。しかし、お経の40分間、「もごもご〜」は止まりませんでした。冷や汗をかいていた私に姉が「頑張ったね」と言ってくれました。この日は、パニックにならず、帰宅できました。



告別式は昨夜と同じ、2人のお坊さんがいらしたので、息子の独り言をお詫びすると「あれ、もう1人、お坊さんがいるのかなと振り向いてしまいました。なかには、お経を全部覚えてしまう方もいます。お坊さんが3人でいいじゃないですか」と笑ってくださいました。会場での息子は、身体を揺らし、昨日より楽しそうに「もごもご〜」を繰り返していました。お坊さんの言葉を母は聞いていたかなと思うと涙がこぼれてきました。

(Y. A)

知的障がい児者・自閉症児者の
生サポは 家族の安心を支えます

●日常生活に関する相談支援 ●就労に関する相談支援
●権利擁護に関する相談支援 ●3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、知的障がい児者、自閉症児者のための病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

主な補償内容		
病気やケガで入院したとき 入院給付金	病気で死亡したとき 疾病葬儀費用保険金 ※プランによって補償します	虐待・逮捕・勾留に対応するとき 弁護士費用等補償 ※プランによって補償します
ケガをしたとき 死亡・後遺障害・入院・通院・手術・各保険金 (地震・噴火・津波によるケガも対象)	賠償責任を負ったとき 個人賠償責任保険金	就労中に他人にケガをさせたり物を壊してしまったとき 職業従事者事故対応費用補償 ※プランによって補償します

※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。
特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、職業従事者事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者
株式会社 ジェイアイシー
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビル2号館2F
TEL: 03-5321-3373 FAX: 03-5321-4774
受付時間: 午前9時～午後5時
(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

■引受保険会社
AIG損害保険株式会社
<https://www.aig.co.jp/sonpo>
東京第二プロチャネル営業部
〒163-0814 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル14階
TEL: 03-6894-9110
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

一般社団法人やまゆり知的障害児者生活サポート協会
〒221-0825 神奈川県横浜市神奈川区反町3-17-2
神奈川県社会福祉センター5F
TEL: 045-314-7716 FAX: 045-324-0426
http://yurisapo.jp/index_qhm.php

2021年12月現在の内容です。(D-005642 2023-03)

2022年度は9,880名余のご加入ありがとうございました。毎月1日付で加入できます。2023年度もご加入よろしく願っています。

川崎市関係主要職員の紹介（令和5年4月1日現在）

【健康福祉局】

健康福祉局長	石渡 一城
障害保健福祉部長	谷 浩昭
障害計画課長	平井 恭順
障害者施設指導課長	神林 高之
障害福祉課長	大町 法久
精神保健課長	塚田 和広
障害者社会参加・就労支援課長	池田 幸
総合リハビリテーション推進センター所長	竹島 正
総合リハビリテーション推進センター副所長	小林 宏高
総合リハビリテーション推進センター担当部長	野木 岳
総合リハビリテーション推進センター総務・判定課長（取扱）	*野木 岳
総合リハビリテーション推進センター企画・連携推進課長（取扱）	*中山 浩
総合リハビリテーション推進センターこころの健康課長	小泉 朋子
南部地域支援室長	倉本 哲義
中部地域支援室長	山田 敦
北部地域支援室長	伊藤 佳子

*印の方は障害保健福祉部担当部長ですが、事務取扱として記載の職を担当しています。

令和4年度特別支援学校等卒業生の進路状況

1. 卒業の状況

学校名	卒業生数
市立中央支援学校	67
市立田島支援学校	56
市立聾（ろう）学校	2
県立鶴見養護学校	3
県立中原養護学校	26
県立高津養護学校	37
県立麻生養護学校	23
市外特別支援学校	3
その他の学校	102
合計	319



2. 近年の特別支援学校等卒業生進路状況

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
日 中 活 動	就労移行	16	16	18	5.7%
	就労継続	32	35	39	12.2%
	生活介護	74	61	83	26.0%
	自立訓練	15	15	21	6.6%
	地域活動支援センター	4	4	3	0.9%
	計	141	131	164	51.4%
入所		4	1	0	0.0%
就職		74	69	33	10.3%
職業訓練機関		5	6	4	1.3%
進学		24	29	6	1.9%
その他		70	60	112	35.1%
合計		318	296	319	100.0%

川崎市育成会手をむすぶ親の会活動報告

《令和5年1月23日～令和5年4月12日まで》

<各種会議、行事>

1月25日(水)	第5回余暇活動委員会	地域福祉施設「ちどり」
27日(金)	かわさきキャラバン隊知的障害疑似体験講演	川崎市小田小学校オンライン
2月8日(水)	かわさきキャラバン隊知的障害疑似体験講演	わかたけ作業所オンライン
9日(木)	三役会議	地域福祉施設「ちどり」
21日(火)	第10回運営委員会	地域福祉施設「ちどり」
3月3日(金)	三役会議	オンライン
4日(土)	春のレクリエーション	スカイツリー・ソラマチ・そなエリア東京
6日(月)	第5回権利擁護委員会	地域福祉施設「ちどり」
7日(火)	又村あおい氏研修会	てくのかわさきてくのホール
14日(火)	第11回運営委員会	地域福祉施設「ちどり」
17日(金)	第4回広報委員会	地域福祉施設「ちどり」
29日(水)	令和5年度川崎市予算要望回答	ソリッドスクエア
4月4日(火)	三役会議	オンライン
5日(水)	令和5年度第1回権利擁護委員会	地域福祉施設「ちどり」
11日(火)	令和5年度第1回余暇活動委員会	地域福祉施設「ちどり」
12日(水)	令和5年度第1回運営委員会	地域福祉施設「ちどり」

<対外行事>

1月23日(月)	NPO法人かわさき障がい者権利擁護センター運営委員会	オンライン
25日(水)	川崎市中央療育センター事故の検証にかかる有識者会議	川崎市役所第3庁舎
27日(金)	川崎市バリアフリーまちづくり連絡調整会議	川崎市役所第3庁舎
2月10日(金)	NPO法人かわさき障がい者権利擁護センター 研修会	地域福祉施設「ちどり」
16日(木)	川崎市障害者施策審議会	オンライン
16日(木)	障害者支援区分認定審査会	オンライン
20日(月)	三団体打ち合わせ	地域福祉施設「ちどり」
20日(月)	NPO法人かわさき障がい者権利擁護センター運営委員会	オンライン
24日(金)	川崎市総合リハビリテーション推進センター所長との意見交換会	地域福祉施設「ちどり」
3月3日(金)	日本発達障害連盟理事会	オンライン
8日(水)	全育連代表者・事務局長会議	オンライン
9日(木)	あんしんセンター業務監督審査会	川崎市総合福祉センター
14日(火)	障害者団体リーダー研修会	川崎市総合自治会館
15日(水)	関東甲信越ブロック代表者会議	オンライン
16日(木)	障害者支援区分認定審査会	オンライン
17日(金)	「障害のある方へのサポートブック」改定における意見交換会	地域福祉施設「ちどり」
中旬～5月19日	育成会フォーラム・行政説明会	YouTube 配信
20日(月)	育桜福祉会評議員会	法人事務局(白楊園3階)
20日(月)	川崎市自立支援協議会	オンライン
20日(月)	NPO法人かわさき障がい者権利擁護センター運営委員会	オンライン
23日(木)	差別解消地域協議会	オンライン
27日(月)	川崎市中央療育センター事故の検証にかかる有識者会議	川崎市役所第3庁舎
27日(月)	川崎市社会福祉事業団評議員会	事業団事務局
28日(火)	川崎市社協評議員会	てくのかわさきてくのホール
30日(木)	一般社団法人やまゆり知的障害児者生活サポート協会	神奈川県社会福祉センター

寄付金

匿名	5,000円	加藤 久雄	5,000円
梅田 俊彦	5,000円		

(敬称略・順不同)

4年ぶり 春のレクリエーション



浅草散策



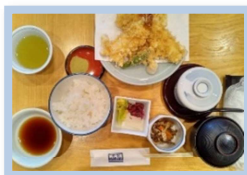
東京スカイツリー展望台



そなエリア東京



浅草葵丸進で昼食



編集後記

「地福協」から「川崎市育成会手をむすぶ親の会」に変わり10年がたち、活動内容は以前と同じものもあれば、変わったものもあります。親が主体となり手作りの会となって数年で、関東甲信越ブロック川崎大会を経験、無事に成功させたことは皆の大きな自信となり、その後の活動への活力となりました。これからも子どもたちが安心・安全・健康な生活が送れるよう啓発、学習、情報発信など、活動していきたいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。
(広報委員 神田 明子)

【もくじ】

- P. 1 ... 創立10周年を迎えて／ホームページのお知らせ
- P. 2 ... 令和5年度川崎市予算要望回答／青い鳥はがき配布について
- P. 3 ... 令和3年度正会員育成会代表者及び事務局会議／行政説明会
- P. 4 ... 育成会フォーラム
- P. 5 ... 創立10周年記念式典のお知らせ／令和5年福祉大会のお知らせ／第11回総会のお知らせ
- P. 6 ... 春のレクリエーション／研修会／手をつなぐ購読のお知らせ
- P. 7 ... かわさきキャラバン隊講演／ぜんち共済広告
- P. 8 ... 支部通信 高津支部・川崎支部
- P. 9 ... 私たちの広場／すったもんだの毎日／やまゆり広告
- P. 10 ... 川崎市主要職員紹介／卒業生の進路状況／近年の卒業生の進路状況
- P. 11 ... 親の会活動報告／寄付
- P. 12 ... 春のレクリエーション写真掲載／編集後記／もくじ／発行責任者

…編集委員…
三浦 ルイ子
高山 君子
板垣 ひとみ
安達 ゆかり
梅田 順子
加藤 敦子

発行責任者 川崎市育成会手をむすぶ親の会 会長 美和 とよみ
〒213-0011 川崎市高津区久本 3-6-22 地域福祉施設「ちどり」
TEL : 044-812-2966 FAX : 044-813-1216 <http://web-k2.jp/ikusekai-kawasaki>